

第448号



広報

あくな

阿久根市の人口	
住民基本台帳人口と世帯数	
(5月1日現在)	
人口	29,610(+49)
男	13,829(+29)
女	15,781(+20)
世帯数	9,781(+87)



いま、婦人会は……

「婦人会員の皆さんにはお世話になってます」……ある区長さん

「青少年に与える影響は男性以上」に大きな力をもっている

「区の行事は、婦人会の協力がなければ運営はなかなか難しい」

最近の婦人会を取りまく状況は非常に厳しいものがあります。なぜなら「婦人会離れ」が阿久根市でもじわじわ進んでいるからです。婦人会の必要性は認めながらもなぜ「婦人会離れ」が進んでいくのでしょうか。4の「から」に特集してみました。

59年  
5月号



# 長島と結んで10年

## 黒之瀬戸大橋

### 盛大に記念式典

阿久根市と長島とを結ぶ黒之瀬戸大橋が、昭和四十九年四月九日開通して、ちょうど今年で十年を迎え、四月九日阿久根市の幌折鼻公園で盛大な記念式典が行われました。

阿久根市黒之上幌折鼻と長島の火の浦とを結ぶ黒之瀬戸大橋は、日本道路公団が十八億五千万円の



長島と阿久根を結ぶ黒之瀬戸大橋

巨費を投じ建設した、全長五百一四、シムバレー（五十五年にダブルブルーに化整直し）二径間連続トラス式の二車線、当時この式では東洋一の大橋でした。

七百台でしたが、十年後の今日では約三千四百台と二倍に増え、四月八日現在九百四十四万台と予想を上回る通行量を示し、阿久根、長島、天草を結ぶ交通の大動脈としてその重要性を増しています。記念式典ではまず、午前十一時県警のカウガートと音楽隊を先頭に、公園、地元選出の国會議員

### 通行料の無料化が最大の課題に



県警カラーガード隊を先頭にパレード

で離島だった長島が本土と陸続きとなり、産業、文化、観光、教育交通の面で島民の生活を豊かにしたほか、阿久根市にとっても大きな恩恵を受けてきました。

当時、橋の通行台数は一日約千や市町長など関係者二百人が東町黒之瀬戸自娛公園から幌折鼻公園までパレード。引き続き式典が行われ、記念事業実行委員会長の川畑強阿久根市長が「なんとか黒之瀬戸に橋を、

### 誕生

おめでとー



出生児	保護者	区名
中村 義也	卓	(大丸)
寺地 泰宏	常義	(尻無下)
藤園 雅巳	重美	(馬見塚)
岩崎 寿旭	則夫	(飛松)
落 優一郎	真一	(洞)
野中 慶太	三郎	(波留)
宮路 加奈	政司	(大下)
大田 智志	悟	(上野)
倉津 智也	和富	(倉津)
寺地 悠	友治	(陳之尾)
岩崎 恵子	隆	(飛松)
濱元 純	孝也	(永田下)
北岸 美香	柳一	(波留)
川崎 大地	健三	(山馬場)
高浜 肇	正和	(黒之浜)
福浦むつみ	清信	(黒之浜)
矢房 信介	康典	(下村)
田平 効作	義昭	(穂之東)
中野沙利美	芳美	(筒田)
花木 美先	功	(波留)
倉津 愛	信秀	(高之口)
猿楽 優介	豊	(波留)
大田雄一郎	忠昭	(高松)

今月は自動車税の納期月です。期限内に納入しましょう。

フェリーを待つ車の列(黒之浜港)



いつでも誰れでも自由に渡れる橋を、の悲願のもと夢の架け橋が完成してから十年を経過しました。この橋の完成の陰には私共の先

輩たちの寢食を忘れた運動が実を結んだのです。今後は、通行料の無料化、国道389号の全線開通などの問題実

現へ向け全力を挙げて努力していきたい」と祝福しました。式典のあとは祝賀会が行われ、浜婦人会の相撲甚句踊り、長島町

の子ども太鼓、東町の山門野踊りなどが次々と披露され十周年記念式典に華を添えました。

## 開通当時の「思い詰めの写真」



いよいよ本体工事に着手



最後の鉄柱が取り付けられ閉合式(左から福永長島町長、丹宗阿久根市長、山下東町長)

## 市立図書館新装オープン

### 資料室は来年四月メドに

郷土資料室を併設して、昨年の

十一月から増改築中だった、市内

高松町の市立図書館がこのほど完

成、五月七日から利用が始まりま

した。

完成した建物は鉄筋コンクリー

ト造り三階建て、延面積は七百三

十一平方メートル。一階には一般閲覧室、

事務室、館長室など、二階には児童閲覧室、幼児室、視聴覚機材を備えた研修室、それに民俗資料室。

三階が増築された郷土資料室(百三十九平方メートル)となっており、総事業費約七千一百七十万円。

図書関係についてはこのほど蔵

書の整理も終り、開放しましたが、

郷土資料室は展示物などの諸準備

を急いでいますが、来年四月の開館をメドにしています。

### 開館日

毎週日曜日(第三日曜日は

休館)、月曜日(第三日曜日の翌

日は開館)を除く午前九時から午

後五時まで

こめいふくを  
お折りします

- |        |          |     |
|--------|----------|-----|
| 尾崎 秀美  | 50 (大丸)  | 喜太郎 |
| 猿楽 セイ  | 86 (高松)  | 重記  |
| 餅越アサノ  | 86 (下桑原) | 美津江 |
| 福原 ヨネ  | 92 (新町)  | 桜ヶ辻 |
| 中原カヨノ  | 66 (尾原)  | 實雄  |
| 落 キヨ   | 80 (落)   | 十助  |
| 坂口 コノ  | 91 (釣場)  | 中村  |
| 松林 行雄  | 59 (杵)   | アキノ |
| 栗林 兼吉  | 56 (高之口) | 貞子  |
| 植村ツルカメ | 85 (山馬場) | 良人  |
| 稲盛 早藏  | 81 (本町)  | 文子  |
| 竹田 重俊  | 85 (高松)  | 寛徳  |
| 尾上 政吉  | 82 (大丸)  | 清美  |
| 吉利 鉄男  | 73 (大川島) | 米子  |
| 花田ツナエ  | 70 (釣場)  | 戸内  |
| 塩田 育則  | 61 (新町)  | 節   |
| 花圃 義隆  | 63 (馬見塚) | キクノ |
| 落 矢兵衛  | 83 (仲仁田) | 永行  |
| 花水ノブエ  | 64 (仲仁田) | 秀道  |
| 佐々木義男  | 60 (黒之浜) | 正   |
| 淵上 戸平  | 93 (黒之上) | 義光  |
| 瀬野浦トミ子 | 82 (古里)  | 廣海  |
| 福浦 太市  | 34 (黒之浜) | 常代  |
| 小田 末弘  | 87 (黒之上) | 正美  |
| 大進 勝   | 45 (古里)  | ナツノ |
| 石沢ハツ子  | 75 (瀬之上) | 金藏  |
| 八郷長次郎  | 91 (八郷)  | 信夫  |
| 麦生田カヨ  | 64 (大谷)  | 国利  |

# 婦人会シリーズ ①

# なぜ婦人会離れ

## (47年)が1,481人(58年)に減…会員数

# 昔の隆盛どっくに

阿久根市の婦人会員数がグリーンと減少、婦人会離れが進んでいるようです。県内どの地域も同じような現状であれば「時代の流れ」と受けとめるとしてもおれでいいのでしょうか。

昭和四十七年には三千二百五十人もいた市の婦人会員が、五十八年には一千四百八十一人、一千七百人も減ってしまっています。

また、当時は全校区市の婦人会に加入していたのに、五十九年度は四つの校区だけ加入し、残りの校区は退会している。この原因はいつたいなにかなのでしょう。

「婦人会はなくなってしまうのでしょうか」。なんらかの対策を立て、本来の婦人会に立て直す必要があると思います。

なぜ今婦人会離れ、なのが、婦人会にスポットをあてて四回シリーズで報告してみます。

一回目は婦人会の現状と婦人会離れの原因を探って見ました。

## 九校区のうち五校区の婦人会が脱退

阿久根市婦人会連絡協議会(婦人会)の会員の現状について調べてみました。昭和五十九年度現在市の婦人会に加入している校区は、阿久根、西目、山下、三笠の四つの校区です。婦人会には九つの校

区組織がありました。五十四年に田代が、五十五年度に尾崎、五十六年度に鶴川内、五十八年度に大川、折多の校区が市の婦人会からそれぞれ脱退しました。市に加入している婦人会員数にしても、昭和四十七年度には三千二百五十人だったのが、五十八年度には一千四百八十一人、約千七百人も減少しています。

## 市から脱退しても活動を続ける

……?

会員が減少すれば、組織の活動も低下するのが常識。しかし、脱退している校区においても婦人会組織はつくり、自分で善実に活動を続けているところもあるのです。

「市の婦人会には加入しない」しかし、「区(校区または部落)の婦人会活動は続ける」。なにかスツキリしない矛盾を感じます。それでは、なにが原因でこのように婦人会離れが進んでいるのでしょうか。

## 子ども会

### 安全会に加入

しましょう

加入手続き中

### 子ども会安全会とは…

「子ども会活動中に負傷又は、死亡した場合、見舞金が支払われます」。

※「子ども会活動中」とは、原則として市の子ども会育成連絡協議会に提出された、区の「子ども会年間行事計画届出所」に基づく活動をいいます。

### 会費 ……年額納入額 (1人当たり)

	子ども会安全会	全国子ども会安全会	合計
	80円	20円	100円
会費者			
子ども会			
指導者			
役員			
子金指			
育			

### 安全会に加入できる人

「単位子ども会」に所属している小学生・中学生・高校生及び、「子ども会」の指導者・育成者(満十五歳以上の方)が加入できます。

婦人会とは

婦人会とは、社会教育団体のひとつで、同じ地域に住む婦人が、地域での親睦や連帯を深めながら、婦人の生活や文化の向上を図るとともに、豊かな地域社会を建設するための奉仕活動を行う団体で、

婦人が、その会に賛同する人々の集まった自主団体で、会合の運営は会員の負担した会費によって行われる。

目的として①スポーツ・レクリエーションなどを通じて、会員の親睦を図る②講義、講習会に参加し、教養を高める③子どもの交通安全、地域の衛生問題など地域社会に奉

仕し、豊かな地域づくりに努める④敬老会、花いっぱい運動、独居老人訪問など明るい地域づくりをつくる。――を掲げています。

婦人会の歴史は古く、すでに明治十七年ごろから県内各地で発足し、明治三十四年には大日本愛国婦人会と名を変え、昭和七年には大日本国防婦人会が結成されまし

た。戦後は、一十五年に婦人会連絡協議会が発足。昭和三十五年には全国地域婦人会に阿久根市も加入して、現在に至っています。

阿久根市婦人会連絡協議会（婦人会）には、昭和五十九年度現在阿久根、西目、三笠、山下の四つの校区が加入。会員は約一千二百人。会長奥ますえさんです。



では、原因は

「いったい、なに」

婦人会離れの原因はなにか市の社会教育課が婦人会の崩れる原因についていろいろと調査をしたデータがあります。その結果を拾いあげてみると①役員のない。②就労婦人が増えた。③婦人会に入ってもメリツトがない。④若年層の未加入。の四つが大きな原因としてあげられたようです。

まず、①の役員のない手がないでは、婦人会の幹部になると出会が多い。昭和五十七年度校区ごとに会長や副会長が市や校区、行政関係行事に一年間どのくらい出席したかを調べたのがあります。

次ページへ

安全会の有効期間は...

毎年四月一日から翌年の三月三十一日まで、ただし、六月十五日までに加入の手続きを終了した子ども会は四月一日に加入したとみなします。

中途加入は（六月十六日以降）会費を金融機関又は、男子ども会安全会に払い込んだ翌日より有効になります。

加入手続き

単位子ども会や安全会費（一人につき百円）をとりまとめ、市子ども会育成連絡協議会事務局（社会教育課内）に納入してください。

見舞金

種類	内	外	
見舞金	7日以上30日以内の時	700円×日数	30日の時21,000円
	31日以上90日以内の時	21,000円+600円×(日数-30日)	90日の時57,000円
	91日以上180日以内の時	57,000円+600円×(日数-90日)	180日の時111,000円
	181日以上の時	111,000円+600円×(日数-180日)	200日の時150,000円
	1,500,000円から50,000円まで障害の程度に応じて15%の段階にのべられています。死亡の時1,500,000円です。		
100万円以上	5,600,000円から125,000円まで障害の程度に応じて14%の段階にのべられています。死亡の時13,000,000円です。		
10万円以上			

※日数は、出席に当たった日数のごとです。

## 婦人会離れの原因？

- 役員・の・なり・手・が・ない
- 就・労・婦・人・の・増・加
- 婦・人・会・に・入・っ・て・も・メ・リ・ッ・ト・が・ない
- 若・年・層・の・未・加・入

## 昭和57年度 校区婦人会役員の出会状況

合計(回) (資料提供 社会教育課)

校区	市行事	校区行事	行政関連行事	県、地区その他行事
山下	126	21	73	26
西目	104	25	46	25
三笠	101	16	47	32
折多	92	16	58	16
大川	85	18	45	17
阿久根	66	14	11	28

市行事
  校区行事
  行政関連行事
  県、地区その他行事

## 多い校区は三日に一回 何らかの行事に出席

これをみますと、一番多く出た校区の回数が百二十六回、最低でも六十六回で全体平均で九十五回になるようです。年間百二十六回出席したと言ふことは、約二百に一回は何らかの行事に出席したことになる。出席行事の多いことに驚かされました。

このように校区の幹部や区の幹部になると市の行事、校区、区の催しなどに多く出席せねばならず、それに伴って家庭への影響が重くのしかかり、家事がおろそかになるし自分の仕事ができない「役員

には絶対ならない。役員になるくらいなら婦人会をやめる」となつてくるのでしょうか。もう一つは、人前で話をするのが嫌いであるというのもあげられています。

②の就労婦人の増えたことによる婦人会離れでは、市内でもパートや本採用で働く婦人が増えていきます。国の調査では主婦の人口は約三千万人、このうち働いている主婦は一千五百万人で主婦一人に一人が働いていることがわかりました。市内でも婦人の就業可能な主婦の人口は約一万四千人、このうち半数の六千人が何らかの仕事についています。

### 就労婦人の増加も 要因「休みたくても 休めない…」

そこで、働きに出ればおのずから自分の休みたいときに休みがとれない。婦人会の会合のある日などにも休みたいが、休めば他の人に迷惑がかかる、給与に影響が出る……休めない、というのがあげられています。また夜の集会でも、昼間の仕事で疲れているうえ、家



消費者の日  
5月30日

詳しいことについては、商工会  
議所に相談ください。

- 国民金融公庫の貸付利率は、三月二十八日から引き下げられているほか、四月からは貸付利率制度等が改正され、中小企業の事業資金が従来にも増して利用しやすくなっています。ご利用ください。
- ▽貸付利率基準金利(年)一・一%が七・九%に引き下げられました。
- ▽貸付け限定の引き上げ
  - ・食品貸付け三千万円が二千五百万円に。
  - ・経営改善貸付けのうち設備資金三百五十万円が四百万円に。
  - ・環境衛生貸付け三千万円が三千五百万円に。
  - ・環境改善貸付け三百五十万円が四百万円に。

昔は婦人会主催による運動会も盛んに行われました



第三十五回全国植樹祭は五月十九、二十日の両日、本県で開き、次のとおり植樹・お手まき行事が

# 中心は “植樹行事”



第35回  
全国植樹祭  
5月19・20日

あります。

一、植樹行事 植樹祭の中心になる植樹行事は、五月二十日始良郡牧園町の自然教育の森で、県内外の招待者や関係者など一万五千人が参加して行います。

式典は午前十時二十分からは始まり、緑化功労者表彰、記念植樹、大会決議などがあります。

記念植樹は、天皇・皇后両陛下がお手植えされ、参加者も一万一千三百本を植えます。また今回の植樹祭を特徴づける、二十一世紀への記念植樹を行います。これは二十一世紀を生き延びた高齢者二十一世紀を担う子どもたち、そ

との間をつなぐ青年の三世代による植樹で、大会テーマ「二十一世紀へつなごう輝くみどり」をアピールするもの。

二、お手まき行事 お手まき行事は五月十九日、始良郡始良町の県民の森で招待者、関係者など千五百人が参加して行います。

式典は午後二時に始まり、天皇陛下がヒノキ、皇后陛下がクスノキの種子をお手まきされ、参加者代表が郷土の代表的緑化樹八種の種子をまきます。

なお荒天のときは、両行事とも会場を牧園町の牧園海洋センターに変更します。

婦人会員も総出で奉仕作業に協力



庭の雑用におわれ出会できない、自然と足が遠のいてくる。」「仕事優先、婦人会後回し」となってくるのでしょうか。

次に婦人会に入ってもメリットがないでは、今の世の中、物や情報は豊富で、金さえ出せば不自由なく手に入る時代になりました。

昔は今日のような豊かな恵まれた世の中と違い、婦人会活動によって情報を得、それを生活のチエとして取り入れており、婦人会が活発に行われた要因の一つで、今は先ほどにもふれたように、婦人会に入っていないなくてもよそからどんどん情報が入ってくる世の中になりました。それと、最近婦人会

## 物品販売の是非を問う会員も

とほ別に各種の婦人サークルが発足しています。ここでは自分の好きな時間、自分のためになる知識が得られ、他の人に何の気もなもなく勉強ができる……「サークルの方が楽しい」……このようなことから「婦人会に未加入でも不便を感じない」と、考える婦人が多くなり、これが婦人会に入らない原因の一つになっているのでしよう。

それに、「物品販売も多い」とこれをいやがる会員もいるとのこ

と。

最後に、若年層の婦人会離れですが、婦人会加入の年齢制限などによる不満（婦人会の必要性を感じない、団体へ加入すれば、何らかの形で拘束されるわすらわしさ、から逃れたいという考え）と、若い人と年上との意見の相違など、これも婦人会離れの要因のひとつとしてあげられています。

婦人会離れの現状を資料をもとに報告してみました。

今回は、県内の現状、市内のいくつかの婦人会の活動の様子などにふれてみます。

### 4月の市内交通事故

	( )は前年	(累計)
		1月から4月まで
発生件数	12 (12)	(45)
死亡者	1 (0)	(1)
傷者数	17 (13)	(58)

## 交通安全



### バスから降りたとき (大型車の前後の横断)

バスから降りたあと、あなたはどのようにして、道路を横断しますか？  
停車中のバスの前や後ろをとおり、

道路を横断するのは大変危険です。バスが大きな障害物となり、横断しようとするあなたはほかの車から見えなくなっているからです。

バスを降りてから道路を横断するときは、必ずバスが発車してから、左右を確認して渡りましょう。特に子供連れの方は、お子さんがバスの前や後から飛び出さないように注意しましょう。



# 青少年の皆さん どんどん使ってください

## 五色ヶ浜に青年の家完成



青年の家正面

昨年の九月から工事  
に着工していた「青年  
の家」が、このほど完  
成、利用が始まりまし  
た。

市内の青少年層から  
「時間を気にしないで、  
思い切り話し合える研  
修の館をつくって」との要望にこ  
たえ、市が五色ヶ浜の埋め立て地  
に建設していたものです。  
青年の家は、鉄筋コンクリート  
造り平屋建て、四百十五平方  
（約百二十五坪）。館内にはステ  
ージ付き、約百人収容の大会議室  
と二十畳の和室。それにいろいろ

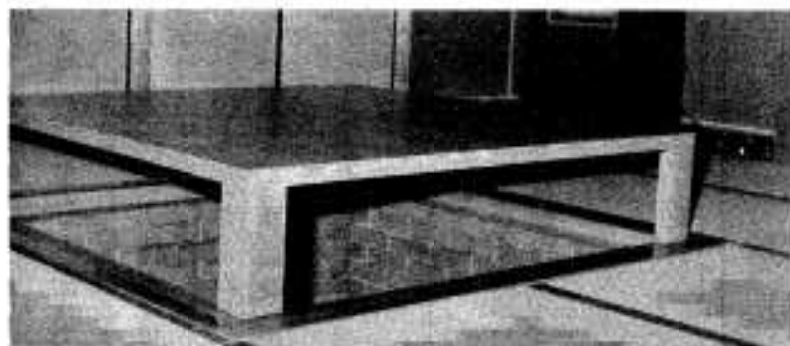
### ▲ステージ付きの大会議室

使用料		
区分	中学生以下	高校生及び一般
基本料金	50円	100円
設備使用料	20円	50円

※一人一日につき、ただし、市民が研修を目的として利用する場合の使用料は、設備使用料を除き徴収しません。

付きの十八畳の和室、男女シャワ  
ー付き更衣室が完備しています。  
総工事費は五千七百万円（全額  
電源立地促進対策交付金）。  
また、隣接して百二十平方尺の  
食堂も完成しています。  
大島を目の前に、東シナ海が一  
望に見渡せる絶好の場所に完成し  
た青年の家。今後は青少年の健全  
育成の場所としておおいに活用さ  
れるものと期待されます。

和室には「いろいろ」も



### 日置さんら七人

#### 県の交通安全協力員

次の方々が県の交通安全協力員  
として委嘱されました。任期は四  
月一日から六十年の三月三十一日  
まで、街頭指導や交通安全教室等、交  
通事故防止のために協力します。  
新留秀雄（水田上松崎勝雄（下  
村）日置幸徳（琴平）春田房義（的  
場）峯治志（波留）田上始（大丸）  
浅野勝康（飛松）（敬称略）

### 自衛官を募集

防衛庁では、自衛官（二等陸・  
海・空士）の募集をしています。  
応募資格は満十八歳以上二十五歳  
未満の日本国籍を有する男子とな  
っています。

受付は、年間を通じて行われて  
いますが、詳しくは、市役所市民  
課へおたずねください。

### ラジオ体操で

#### 健康づくりを

郵便局からの案内

ラジオ体操は、国民の健康増進  
のために昭和三年に郵政省簡易保





# 「自分の選んだ農業で頑張るぞ」

山下・石原・園田さん

新規就農者励ましの会



## 大いに利用したい

阿久根市青年団連絡協議会

58年度会長 上松直幸

このたびの青年の家の完成を、心よりお祝い申し上げます。青年の家は我々青年団にとって、永年の夢でありました。青年団活動をしているといつでも問題となるの

は、活動の拠点となる「たまり場」の問題でした。公民館や個人の家を利用しても、一時的なものでしかなく、いつでも誰でも利用できる半恒久的な「たまり場」が、欲しかったのです。しかし、この問題もやっと解決できました。「いりりの部屋」などもあるという素朴な造りの青年の家を、これからの青年団活動に大いに利用させて頂きます。



農業に従事する左から山下君 石原君、園田君

今年農業に従事する若者を励ます会が四月十八日、農業改良普及所の会議室で行われました。農業に従事するのは桃之浦西区の山下裕一さん(三三)、松ヶ根区の石原義信さん(二二)、古里区の

園田聡徳さん(一九)の三人。

山下さんは農業大学を卒業後、実エンドウを主にした農業で頑張っており、石原さんは高校卒業後会社に勤めていましたが、今回農業に従事するもの。園田さんは今

## 阿久根で十回大会

JCC鹿兒島ブロック

「JCCはひとつ、鹿兒島はひとつ、北薩で語ろう明日の鹿兒島」のテーマのもと、日本青年会議所九州地区第十回鹿兒島ブロック大会は、四月八日阿久根市の中央公民館に福岡、熊本、高崎や県内十一地区の会員三百人が参加して盛大に行われました。式典に先だって午前九時三十分阿久根駅前から中央公民館まで市

年高校を卒業してすぐ農業に従事します。

三人とも「自分から選んだ農業で、頑張ります」と決意いっぱい。川畑市長も「厳しい農業状況の中、若い力で農業を切り開いてほしい」と激励。ジャンパーを記念に贈りました。

### 交通事故相談日

六月十五日(金) 場所 市民相談室



中パレード。式典では各口俊明阿久根青年会議所理事長が「青年として英知と勇気と情熱をもって頑張ろう」と歓迎のあいさつを行いました。

午後からは「これからの教育を考える」「これからの地域経済の展望」の二つの分科会も行われ、活発な討論が展開されました。

### 住宅金融公庫

春の申し込み

5月31日まで

住宅金融公庫

険局が制定し、NHK及び、全国ラジオ体操連盟と共同で普及、発展に努めています。

今では全国で三千万人もの人々がラジオ体操を実践しています。ところで、熱心にラジオ体操を行い、かつ普及発展に努めている人や団体については、郵政省、NHK、全国ラジオ体操連盟の三者から優良団体等として表彰を受ける道がひらかれています。

なお、全国ラジオ体操連盟では、現在会員(団体に限ります。会費不要)を募集しています。詳しいことについては、阿久根郵便局におたずねください。



### 「献血」

▼期日

五月二十五日(金曜日)

▼実施場所及び時間

・市役所玄関前

午前九時から

十一時半まで

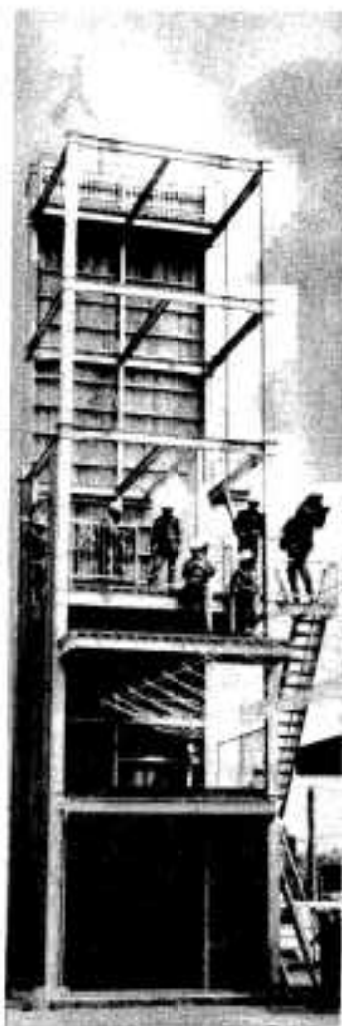
・中蔵ニット

午後一時二十分から

二時三十分まで

・阿久根郵便局駐車場

午後二時から四時まで



完成した訓練塔で訓練する消防署員

# 17メートルのビルポ訓練塔 消防署に設置

阿久根消防署に、このほど高所人命救助用の訓練塔が完成しました。訓練塔はビル六階建てに当たります。

高さ十七メートル、横幅二・八メートルの鉄骨造り。また、二十五メートル南側には高さ七メートルの補助塔も設置。市が七百五十万円の事業費で二月から工事に着手していったものです。

訓練塔では、はしご登はんや補助塔とのロープブリッジ渡り（セーラー、モンキー渡り）、ロープブリッジ救出など、高所における人命救助の訓練を行います。

最近、市内にも高層ビルが建ちこれらに対応できるよう、消防対策の充実強化を図ったものです。

# 「もう安心」

## 折多たん水防除事業完成

### 6億3千万円の事業費

#### 現地で通水式



折多たん水防除事業が完成し四月十日、折口東の排水機場で開演。市など関係者百五十人が出席

して通水式が、市民会館で竣工祝賀会が行われ、完成を祝いました。この事業は、阿久根市折多地区と野田町餅井地区の水田、畑など百七十九公頃の水被覆を解消しようとして、県が昭和五十四年度から五十九年度までの六か年事業で工事を進めていきましたが、一年短縮して五年で完成しました。総事業費は六億三千二百万円。

折口川の河口には、毎秒二・五メートルの排水能力をもつポンプ二基を備えた排水機場を設置。野田町の餅井から折口川までの延長二千二百六十メートルには幅二・四メートル高さ二メートルの排水路を通して、冠水の被害を未然に防ぐことにしています。

完成した折多たん水防除事業・折多排水機場（円内はポンプのスイッチを入れる川畑市長）

### 第30回全日本一般

男子・女子の大会  
九州地区予選会

8月4・5日

男子 市総合グラウンド  
女子 阿久根農高グラウンド

### 消防ミニニュース

（一）は一月から四月まで  
四月の火災発生数 1（8）  
救急車出動回数 51（230）

### 上野さんを会長に再選 老人クラブ連合会総会

阿久根市老人クラブ連合会の総会は四月二十三日、老人福祉センターに市内七十二の単位老人クラブの会長が出席して行われ、五十八年度の行事経過報告、歳入歳出決算承認、五十九年度の行事計画、歳入歳出予算の審議のあと、役員改選に移り、会長に現会長の上野重春さん（七〇）を再選しました。

老人クラブ連合会の努力目標は①会員相互の親睦と和により、連帯感を深めよう②一人暮らしの老人、わたり老人の慰問、社会奉仕に努力しよう③研修会、スポーツ大会に積極的に参加して知識の向上、健康増進に努めよう④老人と若人とのふれあいを高めて健全な若人を育てあげよう―の以上です。

### あなたも弓道を

市の弓道協会では、今、弓道の会員を募集しています。

老若男女を問わず、一人で誰れにでもできる、日本古来の精神スポーツです。

弓道に入会して余暇を楽しんでください。

申し込みは、弓道協会の石沢進さんへ。

# おめでとうございます

## 勲五等瑞宝章

### 赤木さんと江野さんに



赤木義衛さん

昭和五十九年春の叙勲で市  
内藤本橋之浦西区の赤木義衛  
さん(右)と、折口永田下の江  
野國男さん(左)の二人に勲五  
等瑞宝章が贈られました。

要項おめでとうございます。

赤木さんは、三豆青年学校を卒業後、昭和九年熊本郵便局の事務員として勤務。昭和三十三年には局長に任命され、昭和五十五年の退職までの四十六年間郵政事業の発展、育成に貢献されました。

この間鹿児島県特定郵便局長出水西部会長などの要職を歴任。また、昭和五十五年からは市の教育委員、五十七年からは教育委員長として活躍されています。

赤木さんは「地域の皆様方のご指導とご協力、また、



職員の方々のご協力のお陰で賞をいただき、身に余る光栄です」と喜びを話してくださいました。

「保護司の皆さんのご協力とご援助のお陰で、このような賞をいただき感謝でいっぱいです。今後とも体力の続くかぎり緑の下の力持ちとして、皆さんのために尽くしたい」と、喜びを話してくださいました。

江野さん、野田の青年学校を卒業後、洋服仕立の本業のかたわら、昭和二十一年に更生保護司に委嘱されて以来、今日までの三十九年間罪を犯した人々の更生と犯罪の予防のため献身的に努力されてきました。「更生された方が訪ねてくれた時が一番嬉しい」と目を細める江野さんです。

江野國男さん

### 藍綬褒章

#### 中村龍実さん受賞



中村龍実さん

社会のため  
方々を対象とした藍綬褒章が、市  
内大丸町の中村龍実さん(右)に贈  
られました。

中村さんは、昭和二十九年から現在地にクリーニング業を開業。昭和四十九年から今日まで鹿児島県クリーニング環境衛生同業組合の理事長として、県内二百六十六人の同業者の指導、育成等に尽力され、週の三日は鹿児島市の事務所に出張される多忙な中村さん、私にとつてこのうまもない米袋で、皆さんのお陰だと感謝いたします。今後とも体力の続くかぎりクリーニング業発展のため尽くしたい」と、喜びを話してくださいました。

### あなたが選ぶ 「ふるさとの味覚」

九州郵政局では、「ふるさと意識」の向上と、地域経済の発展に寄与し、地域との結び付きを深めることを目的として、県の味自慢を選ぶキャンペーンを実施しています。

▽応募方法 ハガキに県名、ふるさとの味覚一点、名前、郵便番号住所、電話番号を記入してください。

▽応募先 〒890 鹿児島市中  
央町一番地の2 鹿児島中央郵便局

▽締め切り 五月三十一日(木)  
▽賞品 応募いただいた方全員の中から抽選で賞品を差しあげます。

### 人権でお悩みの方 相談を

六月一日は、人権擁護委員法  
が定められた日です。

人権でお悩みの方、左記の委員  
にご相談ください。無料で秘密は  
守られます。

- 寺地伊佐夫(尻無上)④0109
- 宮内正美(波留)②1318
- 松木小衛(瀬之下)⑤1416

# 光

四年 将文

桜は百  
花の王

昭和六年 山下博子

桜は百  
花の王

昭和六年 末吉理美子

## ともだちの作品

■ 脇本小学校

桜は百  
花の王

昭和六年 中村素子

桜は百  
花の王

昭和六年 天上千子

桜は百  
花の王

昭和六年 祝定直也

## わたしの

十八番 ⑤

## 山ぞうり

づくり

市内山下馬場

切通チカノさん(81)



「じいさん(おんじよ)が作っていたのを見て覚えてとハハハ」と、元氣よく笑い、山ぞうりを作るチカノばあちゃん。今の子どもたちはぞうりに興味がないのか、ばあちゃんのぞうり作りを見る子もいないそうです。

山ぞうりは磯用で長さ十五センチ、西目地区の漁業の方々がよく愛用され「チカノばあちゃんの山ぞうりが丈夫で履きやすい」と買いに集えるそうです。

一日一疋も作れば自分で満足「遊び仕事で作っとつと、今ではなおを結つとこりがめんどうで、糸柱の高つか日はまっがあとハハハ」。とにかく明るく元氣なばあちゃん、山下馬場老人クラブのゲートボール選手の主力メンバーとして活躍中です。

## 図書館だより

## 今月の新刊



▽平二郎の首(峰隆一郎著)▽鉄道パズル(西村京太郎監修)▽私のおもしろ人生(大山のぶ代著)▽ザ・デイ・アフター(マイケル・リョーゲン著)▽荒野に骨を曝す(杉森久英著)▽コンピュータ

▽早わかり百科(鳥戸一臣著)▽風のことば 海の記憶(中沢けい著)▽歴史小説への招待七話(布施雅男著)▽胡耀邦(信太謙三著)▽もうひとつの徳川物語(浦井正明著)▽忍野惣霊殺人事件(三谷

来沙夫著)▽タイム医学おもしろゼミナール(鈴木弘文監修)▽流離の譜(滝口康彦著)▽マンガで覚えるパソコン用語教室(近藤龍太郎著)▽もつと困れ(横井庄一著)▽おんなの心くばり歳時記(清川妙著)▽読書人 読むべし(百目鬼三郎著)▽気ばたらきしてますか(堀月弥栄子著)▽こどもははくの先生だ(鈴木頼彦著)

## 在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時から午後五時まで、急患の方以外はご遠慮ください。

5月20日

簡井耳鼻咽喉科 ②0040(米町)

北国医院 ②0016(本町)

石原医院 ⑤0045(穂之東)

5月27日

阿久根内科 ②0578(琴平町)

内山病院 ③1551(高松)

脇本病院 ⑤2121(穂之西)

6月3日

上園医院 ③1055(本町)

徳藤医院 ②0420(本町)

石原医院 ⑤0045(穂之東)

6月10日

堀切産婦人科 ②0263(高松)

林胃腸科外科 ③3639(大丸)

脇本病院 ⑤2121(穂之西)

6月17日

大塚眼科 ②0306(浜町)

田中外科 ③0553(大丸)

浜之上医院 ⑤2600(脇馬場)

## 60年の成人式は

平服で

参加しましょう

阿久根市新生活運動

推進協議会

# サークル紹介⑦

## 鶴亀会 (お年寄りのグループ)



いつもほがらか鶴亀会のメンバー

阿久根市上野区の仲良しばあさんたちが、老人福祉センターで温泉に入りながら顔見知りになり、毎週土曜日に集まるようにと誘い合い、午前九時半中央公園に集合

しマイクロバスにゆられ、重心にかえり遠足みたいに歌を歌い、賑やかな笑い声でセンターに向い三時まで老後の生きがいを痛快に過ごしています。

メンバーは上野、新町の年寄りでもう三年になります。最高齢八十九歳から一番若い七十二歳まで、平均年齢七十九歳。二年前に鶴は千年亀は万年の諺にちなみ長く長く生きるようにと鶴亀会と決めました。

センターの見晴らしの良い部屋から大島、桑島等眺めながら、明治時代に流行した若き日の民謡や手踊りなど思い思いに踊り、特に相撲甚句の達者なばあさんがいて芸達者を集いで、ボケ防止のためにもなるグループです。

### 阿久根歌壇

### 折田憲司選

〈男選〉  
ガダルカナル撤退の兵を艦に乗せ  
き瘦せ衰へし若きを背負ひ

〈評〉 遺棄敗退の屈辱は遂に  
生ある限り消えぬ体験者のみが吐  
露し得る忿怒と追悼の挽歌である。

春がすひ小さき入江の見えそめぬ  
我が父ははの喉ふるふるさと

浜町 中村 正子

ゴルフ場と今は変れど古い我は特  
攻基地の記憶消し得ず

臨本 赤崎 タエ

春の雨音なくそそぐ公園に紅き鳥  
居のはなやぎて見ゆ

琴平町 川畑 スミ

「歴史的假名遣」使用

投稿希望者は  
宮製ハガキに三番以内  
阿久根市本町一三〇

折田憲司宛

### あくねのみんな②8



### 生き仏さま

光接寺開基の祐円法師は、情深く、人徳の高い僧でした。人々は「まるで生き仏さま」また「とあがめていました。



本堂にこもりその靈を叩いたそう  
です。

あるとき、女中が忘れて味のついでない汁を出したことがありましたが、いつもと変わりなくおいしそうに食べ、後で女中が食べてみてびっくりし、お詫びに行くと精進料理にはなれているといったようすで、一言もとがめだてはしなく、決して人を叱るようなことはなかつたという。

生きものは蚊一匹、蠅一匹でも殺したことがなく、誹経のとき蠅が止まっても、私おうともせず、蚊が刺しても、叩こうともしませんでした。

子供たちが、ホタルやトンボ、セミやコオロギなどを取ると殺生を戒め、子供をよくかわいがったので、田代や大川あたり

法要を営むときは、一人に四時間もついでし、わんごろに供養したので、門徒から招きがあつても一日一戸だけしか応じませんでした。

阿久根沿岸で難船して死んだら、不慮の災難にあつて死んだ人があると聞くと、見も知らない人でも

からも喜んで親と一緒にお寺詣りに来ました。

祐円法師の一生は、慾もなく、ただひたすら念仏を唱え、仏門に一身を捧げ一隅を照らした高僧でした。

## みんなの広場

皆さんの周りで起きたニュース、  
話題など、なんでも結構です。  
広報係へお寄せください。  
☎1211 内214

が ん ば っ て  
い ま す



愛情とまじごころをもってタバコづくりの生命をかけます。  
市内永田上 慶越俊博さん(28)



# 『たけのこ』の劇や合唱 青年祭

第十二回阿久根市青年祭は、四月二十一日中央公民館ホールで行われました。

今年には青年団による劇『たけのこ』や合唱に加え、ウオッシュユバインバンド、わらべうたサークル、たけのこ会、フォークバンドやチャップリーズの友情出演で盛りあがりました。

盛りあがった青年祭



ベテランの先生に教えてもらい  
ボンタンの皮むきに挑戦

## ボンタンで歓迎 転入教職員歓迎会

「阿久根のボンタンを食べて、早く阿久根になじんでください」  
四月七日市役所で行われた、転入教職員四十四人の歓迎会で、阿久根の特産ボンタンがデザートとして出され、先生方は、分厚いボンタンの皮に包んで切れ目を入れ、四苦八苦(写真)しながら皮をむき、実を取り出していました。

それでも試食された先生方は、「うまい」と美言に満足されていました。

### 59年度の分団長さん 頑張ってください

- ( ) は分団名 敬称略
- 川原義弘(中央) 鮫島善光(三笠)
  - 奥早勝美(大川) 中園和之(鶴川)
  - 内 永田耕造(折口) 岩崎則夫(西目)
  - 目 猿楽初雄(佐瀬) 牛之濱順一(牛之浜)
  - 勝美(山下) 大田豊茂(尻無)
  - 若松幸徳(尾崎) 黒崎義久(赤瀬)
  - 原城(島久) 多田 馬場陽一(古里)
  - 小村熱(瀬ヶ浦) 石原岩雄(桐野)
  - 福浦二則(黒之浜) 松木長利(黒之瀬戸)
- ▽阿久根市消防団  
○団長 山下正雄 ○副団長 大庵国男  
神之田月教 ○本部分団長 浅野一男 ○本部分部長 京田正憲

### スポーツのことなら 市の体育指導委員へ

- 任期は二年( ) は校区
- 山口昭典(単人) 松元鉄平(脇本)
  - 園田正雄(脇本) 西野勝男(折多)
  - 中園和之(鶴川内) 野中優文(尾崎)
  - 崎) 松永正美(山下) 西園義教(阿久根)
  - 吉野清任(阿久根) 西田庄右衛門(西目)
  - 松水隆美(大川) 奥早勝美(大川)
- 敬称略

ハイ/元気だよ



寺地華織ちゃん(右、2歳)  
恵子ちゃん(左、3歳)  
市内尻無下  
寺地寿美さん27の長女、二女

「交通安全ポンタンをどうぞ」  
ドライバーに贈り事故防止



「ポンタンで眠けをさましてね」

阿久根警察署と阿久根市交通安全協会では、春の交通安全運動期間中の四月十二日、警察署前の国道3号で、阿久根特産のポンタンをドライバーに贈り事故防止のP

Rに努めました。  
「交通安全に役立てば」と、市内大川のポンタン加工業下藤泰平さんが、ポンタンとポンタン漬をそれぞれ二百個を提供しました。こ

わたしの

お父さん④

市内八郷

たけはら みち子(七)

おとうさんは、この村で一ば



竹原長政さん(35)

んのワイヤー作りのめい人です。いつもは、うちにいて、ママ作りや田んぼのしごとをしていますが、大さかのおじさんのワイヤー作りのこうばが、いそがしくなると、おうえんに行きます。みんなからたよりにされているので、かっこいいなとおもいます。  
おとうさんが、一ばんよろこぶときは、わたしが、学校であったことをお話ししてあげるときです。

浦(男レシ)段(女レシ)

が優勝

赤瀬川地区子ども会球技大会  
赤瀬川地区子ども会球技大会は五月五日勤労者体育センターで行われました。男子バレー①浦A②段A、女子ミニバレー①段A②浦網引き①段でした。

メドレークラブ

二連勝

春季ソフトボール大会

市ソフトボール協会主催の春季ソフトボール大会は四月十二日から二十三日まで、市総合グラウンドで行われました。

今回は四十七、五百人の選手が参加、連日熱戦をくりひろげました。決勝はメドレークラブとキングが対戦、九対二でメドレークラブが勝ち二年連続の優勝を飾りました。二位キング、二位ジャガーズと阿久根電報電話局でした。

むかしの

子どもの遊び

⑪

ジャンケンとつ

(とび)



ジャンケンをして勝った数だけとんで、もとの処に早く着いた人が勝とします。神社や学校など階段を利用したり、庭で遊びます。グー(石)チョキ(紙)パー(紙)を例えば三・五・十と初めに決めておくのです。三人以上なら遊べます。人数が多いときはジャンケンをする人と、とぶ人とに分けます。

# お知らせ

行事催物など  
どしどしお寄せください  
◎1211内線214

## 調理師試験の案内

▽試験日 七月十六日(月)

午前十時から午後二時

▽場所 鹿兒島県立短期大学

(鹿兒島市下伊敷町四

十四番地)

▽書類受け付け

五月七日から六月六日

○応募資格 小学校五年生から中  
学校三年生まで

詳しくは、出水保健所におたず  
ねください。



## 安心してスポーツを

スポーツ安全保険に加入して

加入受け付け中

この保険は、指導監督者を置く  
五人以上でグループを構成してい  
るスポーツ団体及び社会教育関係  
団体が加入できる傷害保険です。  
安心してスポーツ活動等に親し  
むために進んで加入してください。  
▽保険料(一人当り)

- ・中学生以下の生徒、児童、幼  
児で構成する団体(三三〇〇円)
- ・文化、奉仕活動のみの団体  
(三三〇〇円)
- ・高校生以上のスポーツ関係団  
体等(一、〇〇〇円)
- その他(一種団体は保険料が違

## 青年海外協力 隊員を募集

アジア、アフリカ、中南米など  
開発途上国の国づくりに技術、技  
能を生かして協力する青年海外協  
力隊員を募集しています。

### 不用犬の 引き取り 5月29日

午前10時～10時30分

保健センター

ます。

▽保険の有効期間

保険を加入した日の翌日から六  
十年三月三十一日まで。

▽支払われる保険金(定額)

- ・死亡(一、二〇〇万円)
- ・通院治療日額(二、〇〇〇円)
- ・入院治療日額(三、七〇〇円)
- その他詳しいことについては市  
の社会体育課③1211内線3  
14へ。

- 応募期間 六月二十日まで
- 作品題  
ア課題 簡易保険、郵便年金に  
関係のあるもの  
イ自由題

日ごろ考えていること、思っ  
ていること、感動したことなど。  
○原稿枚数 四百字詰め三枚 小  
学生、中学生四、五枚。  
詳しくは阿久根郵便局②04  
27へ。

## 「お詫び」



先月号(4月)の広報で、  
金ページにわたり、写真の映  
りが悪く市民の皆様にご迷惑  
めいわくをおかけいたしました。  
た。お詫び申し上げます。今  
月号からは充分に注意し、納  
得のいく写真を掲載して、皆  
様のご要望にこたえていくつ  
もりです。今後共一広報あく  
ね」をよろしく、ご愛読くださ  
い。

## 社協だより

次のかたがたから、香典返しと  
して、市社会福祉協議会に寄付が  
ありました。ありがとうございます  
した。(敬称略)

- 花木篤盛(本之牟礼) 小牟田高  
治(上野) 川畑鉄己(弓木野) 久  
保初美(新町) 飛松健雄(飛松)  
牟礼不二夫(半之浜) 高原ソデ(長  
谷) 平ミドリ(古里) 落ミツ子(仲  
仁田) 中野繁(桜ヶ丘庄) 浜岡茂  
(尻無下) 坂元ツユ(浜) 川辺秀  
雄(大淵川) 藤園セキノ(大川島)  
尻無ヨツミ(尻無中) 吉利米子(大  
川島) 花田予内(的場) 花木美道  
(仲仁田) 松崎トヨ(瀬之下) 中  
村先男(的場) 植村良人(山馬場)  
瀬野浦広海(古里) 稲盛文字(本  
町)

★広報送付お札 東京都板橋区に  
お住いの的場義次さんより御寄付  
をいただきました。

## 給油所の

### 日曜当番店

- 六月二日 阿久根石油(臨本)
- 十日 落合石油(臨本)
- 十七日 阿久根市農協(折口  
と波留)
- 二十四日 折口石油(折口)

昭和五十九年 月十日

鹿兒島県阿久根市役所編集発行